

都市再生戦略チームにおける意見等について

平成18年度全国都市再生モデル調査の選定に際しては、学識経験者として都市再生戦略チーム委員の意見を聴取しました。

(都市再生戦略チームにおける主な意見)

- ・ モデル調査実施後の展開として、ハード面の成果を把握するのみならず、人材や組織の発展といったソフト面の成果についても把握し、示していくべきではないか。
- ・ 個別の担い手によるモデル調査の成果が地方公共団体の施策に結びついていくよう、フォローアップを行っていくことが必要ではないか。
- ・ モデル調査の概要や調査実施後の展開等に関するデータベースの作成は評価できるが、これを広く利用されるものとするため、データベースから個別の担い手のホームページへのリンク設定、コンテンツのビジュアル化等の工夫により使い勝手の向上を図るとともに、公表に当たって記者会見・イベント等による積極的PRに努めるべきではないか。
- ・ モデル調査に関する情報発信は広く行うべきである。
- ・ 行政の「目利き力」を向上させるため、現地調査を実施することも有効ではないか。
- ・ 今後、モデル調査を活用して移住支援の仕組みづくりの取組も対象とすることができないか。

(参考)

○ 都市再生戦略チーム開催日時

平成18年6月1日(木) 午前8:00~9:30

○ 場所

永田町合同庁舎3階 都市再生本部事務局会議室

○ 出席者

伊藤滋、大垣尚司、残間里江子、林泰義、吉見俊哉、小澤一郎、根本祐二(以上委員、専門調査委員五十音順、敬称略)

牧野徹内閣総理大臣補佐官、澤井英一内閣官房都市再生本部事務局長、清水郁夫同事務局次長、森下尚治同事務局次長、荒井伸同事務局参事官、吉岡淳同事務局参事官、海堀安喜同事務局企画官